

「新学習指導要領」に示された「将来に向けて育成すべき資質・能力の三つの柱」

<基礎的な知識・技能の確実な習得>
○何を知っているか・何ができるか

<課題解決を図るための思考力・判断力・表現力等の育成>
○知っていること・できることをどう使うか

<学びに向かう力や人間性等の育成>
○どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

★生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること） ★子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと） ★子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること） ★差別の禁止（差別のないこと）

子どもの権利条約（国連）
「江東区こどもの権利に関する条例」（令和7年4月1日）

江東区教育理念

こどもたちが、夢に向かってのびのびと育ち、未来を担う人となること。

<5つの力>

- 1 自ら学び考え行動する力
- 2 困難を乗り越える力
- 3 人権を尊重し他者を思いやる力
- 4 社会へ主体的に貢献する力
- 5 他者と協調・協働し人間関係を形成する力

<3つの指針>

- 1 こども主体で「生きる力」を確実に育む教育
- 2 一人一人を大切に、個性を伸ばす教育
- 3 学校・家庭・地域が連携し、こどもたちの成長を支える環境づくり

<キーワード>

「～とともに～」

本校の教育目標

「生きる力」を育む「知」「徳」「体」の調和のとれた教育を通して、「予測不能な社会を生き抜く力」を醸成し、主体的に学び、責任感と未来を担う力を育成するため、次の目標を設定する。

- 健康でくじけない人
- 誠実で心豊かな行動のできる人
- 大志をもって学習する人

<目指す学校像>

- 毎日の登校が楽しみになる学校
- 学ぶ楽しさ、ふれあう喜びを感じる学校
- 生徒が誇りに思い、家庭や地域から信頼される学校
- 教職員がやりがいを感じる学校
- コミュニティ・スクールとして地域ともにある学校

<目指す生徒像>

- 好奇心旺盛で、自ら進んで学ぼうとする生徒
- 互いを尊重し、支え合い、励まし合い、切磋琢磨する生徒
- 進んで心身を鍛え、粘り強く取り組む生徒
- 規律を守り、礼儀を重んじる生徒
- 視野を広げ、社会に貢献しようとする生徒

<目指す教師像>

- 常に研究と修養に努め、専門性を磨き、質の高い教育実践を行う教師
- 常に生徒理解につとめ、生徒の良さを引き出し、生徒の心身の成長を促す教師
- 常に教育公務員としての自覚と見識を持ち、社会の模範となる教師
- チーム学校の一員として協働する教師

家庭・地域との連携

- 生徒の学校での様子を「学校だより」や「学年だより」、学校ホームページを通して、家庭や地域に伝える
- 生徒・保護者との面談を通して、きめ細かく家庭と連携を図る
- コミュニティ・スクールとして地域との情報共有を積極的に行い、連携して生徒の健全育成を図る

特別支援教育

- 特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育校内委員会を有効活用した組織的な生徒理解と対応としての合理的配慮の推進と充実を図る
- 学校・家庭・地域が一体となって特別支援教育の理解を深めていく

学力の向上

- 「こうとう学びスタンダード（ネクストステージ）」の推進を図り、基礎・基本の確実な定着を目指す。
- 「授業のめあて」を明確にし、「何がわかったか」を「振り返る」授業を通して、PDCA サイクル重視した学ぶ意欲の向上を目指す
- ICT 機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実践し、「思考力・判断力・表現力」の向上を目指す
- 体験的・協働的な学習で学ぶ楽しさを実感させる

豊かな心の育成

- 「特別の教科 道徳」の授業で、他の生徒とともに「考え議論する」ことにより、自らの考えを深めていく
- 生徒の規範意識を高めるとともに、生徒自らが「いじめを許さない」という自治活動を充実させる
- 学校生活を通して他者と関わりながら、互いに支え合い、高め合うことができる集団づくりを目指す
- 学校図書館の活用を推進するとともに、朝読書の定着を図り、生徒の読書量をふやす

健やかな体の育成

- 「体力スタンダード」の確実な定着を図り、基礎的・基本的な動きや技能を身に付けられるよう保健体育の授業改善を行う
- 「江東区立学校・幼稚園におけるアレルギー疾患に対する取組マニュアル」に基づくアレルギー対応の徹底を図り、事故の未然防止を推進する
- 給食を中核とした「食育」を行い、健康や体力の向上、食文化の理解を促進する
- 家庭と連携した基本的な生活習慣の改善を促進する

信頼される学校づくり

- 学習の評価については、年度当初、生徒や保護者に評価のポイントや評価方法を丁寧に説明し、評価に対する問合せには評価場面や評価材料など明確な根拠を示して説明する
- 生徒指導は必ず複数で対応し、生徒の話を丁寧に聞き取り、「生徒の困り感」に寄り添った組織的な指導の充実を図る
- 日常的に家庭との連絡を密にし、「家庭の困り感」に寄り添った協働による生徒の健全育成を目指す
- 電話や来校された方への丁寧な接遇を徹底する